横浜天声キリスト教会　週報　第 18 巻 15 号（No.687）　2023 年 4 月 9 日

礼拝プログラム　※主の導きにより変わる事があります

黙祷　ヨハネ 6:39-40 ・・・・・・・ 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
*賛美 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25番　多くの冠
*交読文 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 62番
*使徒信条 ・・・・・・・・・・・・・・会衆一同
*頌栄 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 150番　み墓ふかく
礼拝のための祈り ・・・・・・・ 成田エクレシア：朴執事　天声：小林伝道師
賛美 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 155番　さかえあれ、死に勝ちて
メッセージ ・・・・・・・・・・・・・ 死と復活によって私達を再創造して下さる主(ヨハネ 20:19-22)
御言葉を適用する祈り ・・ 会衆一同
賛美 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 154番　救いの主（ぬし）は　ハレルヤ
幸せと成功の宣言文 ・・・・ 会衆一同
献金感謝の祈り ・・・・・・・・ パスター
報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 次週 4/17 より 21 日までコーエン大学の学びがあります。
*主の祈り ・・・・・・・・・・・・・ 会衆一同
*祝祷 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ パスター

天声教会は

・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。（ヨハネ 1:1、マタイ 3:17、17:5）
・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。（ローマ 10:10）
・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。（ローマ 10:10）
・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。（第二テサロニケ 3:5）

祝福の御言葉（下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい）

わたしを遣わされた方の御心は、わたしに与えて下さった____を失わずに、終りの日によみがえらせることである。わたしの父の御心は、子を見て信じる____が、永遠の命を得ることなのである。そして、わたしは____を終りの日によみがえらせるであろう」。（ヨハネ 6:39−40）
もし、イエスを死人の中からよみがえらせたかたの御霊が、____の内に宿っているなら、キリスト・イエスを死人の中からよみがえらせたかたは、____の内に宿っている御霊によって、____の死ぬべきからだをも、生かしてくださるであろう。（ローマ 8:11）
なぜなら、もし____の口でイエスを主と告白し、____の心で神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、____は救われるからです。（ローマ 10:3）
「あなたこそは、その巻物を受けとり、封印を解くにふさわしいかたであります。
あなたはほふられ、その血によって、神のために、あらゆる部族、国語、民族、国民の中から____をあがない、____の神のために、____を御国の民とし、祭司となさいました。____は地上を支配するに至るでしょう。」（啓示録 5:9−10）

メッセージ概要

本日はイエス・キリストの復活を祝う復活祭(イースター)である。イエス様が死者の中から復活された事は、「今の私達」とどう関係があるのだろう。イエス様は何のために、死と復活を通られたのか。それは今の私達を**全く新しく造り変えるため**、つまり、**私達もイエス様と同様、死と復活を通って「再創造」されるため**である。

イエス様が復活した日、弟子たちに現れて、開口一番、言われた事は「**平安があなたがたにあるように**」だった(ヨハネ 20:19)。弟子たちはその時、恐れ、鍵をかけ、閉じこもっていたが、復活のイエス様は、恐れや不安で閉ざした心の部屋に入って来て、「平安があるように」と言われる。その平安のしるしは、十字架の傷がある手、足、脇腹であり、それによって神と私達の間に平和がもたらされた事を繰り返し宣言される。
「平安」の次に主が宣言されたのは、「わたしもあなたがたを遣わします」という、**主の働きへの派遣**である。主の働きをするに当たって、「平安」が無いなら、ストップするべきだ。主の御旨に従っているなら平安があり、どんな不可能と見えるミッションでも、心乱されず進みゆく事ができる。もし確信と平安が無いなら、求めるべきだ。主よ、今、私の心に入ってきて下さい。あなたの示される働きへと召して平安を与えて下さい、と。
主は平安の宣言と、派遣の宣言に続いて、「聖霊を受けなさい」と言って、息を吹きかけてくださった。主の働きをするにあたって、何より必要なものは、**聖霊**である。もしイエス様を死者の中からよみがえらせた方の「御霊（聖霊）」が私達の内に住んでおられるなら、イエス様を死者の中からよみがえらせた方は、私達の内におられる**御霊を通して、私達の死ぬべきからだをも生かしてくださる**、と書いてある！(ローマ 8:11)
私達の死ぬべきからだは、色々なものに縛られている。物理的・時間的な束縛や病、老いなど。しかしイエス様を復活させてくださった方は、御霊を通して、私達の死ぬべきからだを生かし、私達より遥かに優れた力を通して、あの事この事、全ての問題を解決させて下さる。　将来への不安、思い通りにならない事への焦り、体を蝕んでいる病、そういったもろもろはあるかもしれない。しかしそれらを、イエスの御名によって死へと明け渡し、ただ御言葉の真理のほうを選択して信じるなら、いのちの御霊の法則が作動し、私達の所属は**「死」から「いのち」へと名義変更**され、死ぬべきからだも、心も思いも、いのちに取って代わるのだ。

私達は日々、目の前に、不安もたらすものが襲いかかって来る。パウロもそうだった。彼はアジヤで、非常に激しい、耐え難い圧迫を受け、いのちも危くなり、死を覚悟したが、それは「**もはや自分自身を頼まず、死者をよみがえらせてくださる神により頼む者となるため**」だったと告白している(2コリント 1:8-9)。
この世の、目の前に起きる現実の多くは、偽りである。病という偽り、貧困という偽り、敵という偽り・・・。
また、私達自身の思いも心も、偽りで満ちている。もし、思いの中で、命ではないものの方が現実味を帯びていると感じるなら、偽りを信じ込まされている。サタンの手法はいつも「偽り」であるからだ。しかしもし、からし種ほどの信仰という「一石」が投じられるなら、オセロゲームのように、真っ黒な心は、真っ白な平安へと取って代わって行き、サタンはその平安に、指一本触れることはできなくなる。**復活のキリストにあって、現実は真実へと飲み込まれ、死は復活のいのちへと飲み込まれ**、サタンの死の力も、偽りも、たちまち霧散して消えて行き、ただ、主が宣言された「平安」「いのち」「喜び」「確信」へと、取って代わられていく。

信仰とは、望んでいる事柄の権利証書であり、まだ見ていない事実の監査明細である。（ヘブル 11:1）
この世には、色々な「書類」が存在するが、**信仰こそ、真の権利証書、また監査明細書**である。ある物件の権利証書を掲げて「この物件はわたしのものである」と主張するなら、その物件の所有については、誰も文句は言えないように、私達はもっと、「信仰」という権利証書、監査明細書を、高らかに掲げ、宣言すべきだ。私の支配は、サタンからイエスへと、死からいのちへと名義変更された！サタンが不法占拠しているこの場所、この資産、この権利は、本来の所有者である主イエス・キリストのものとなる事を宣言する！というように。

サタンはこの世を、偽りを用いて不当に占拠した。イエス・キリストを信じ、死と復活を通して神の子とされた私達は、信仰をもって、真理の御言葉をかかげ、不当に占拠されたこの世を、どんどん正当な所有者・キリストへとぶんどり返して行くべきである。キリストにある平安で満たされ、彼から遣わされた者として御霊に導かれ、地の果てに至るまで、全て造られたものをキリストで染めていく私達でありますように！

お祈りしていただきたい事がありましたら、以下にお書きの上、教会へお持ち下さい。

集会案内

主日礼拝（日曜）

日本語礼拝	11:30 開始
交わり	13～14 時
English Service	14 時半開始

日々の集会

月～金	早天祈祷会	5:00～
火・木・金	賛美と祈りの集会	13:00～
火～木	夜の祈祷会	19:00～

水曜礼拝

1 部	13:00～
2 部	19:00～

金曜祈祷会 19:00～

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6 番 B 出口を出てまっすぐ徒歩 5 分
JR・関内駅より徒歩 10 分
京急線・日ノ出町駅より徒歩 10 分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1F がファミリーマートになっております。

聖書メッセージをメールでお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！

第 18 巻 15 号　　2023 年 4 月 9 日

横浜天声キリスト教会

礼拝　週報

〒231-0058　　パスター：　林和也　川合ゆきえ
神奈川県横浜市中区弥生町 2-17　ストークタワー大通公園 I-201
TEL/FAX：　045-326-6211
Homepage：　http://voice.of.christ.yokohama/
email：　ephes_03-tensei@yahoo.co.jp